

特定非営利活動法人 北海道総合地質学研究センター

Hokkaido Research Center of Geology

2022 年度年報

(2022 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日)

目 次

| | |
|-------------------------|----|
| I. 北海道総合地質学研究センターについて | 1 |
| II. 活動および事業 | 2 |
| III. 会員による研究活動 | 7 |
| IV. 会計決算 | 11 |
| V. 無償役務, 寄付金および賛助金受入れなど | 13 |
| VI. 後援, 助成金受入れなど | 13 |



2023 年 (令和 5 年) 7 月 31 日発行

I. 北海道総合地質学研究センターについて

1. 目的

本法人は、地質学に関する研究・教育・実務などの高度な創造的活動を行なおうとする者のために必要な環境を用意し、その支援を行うとともに成果の普及活動を行い、それによって純粋地質学から自然防災を含む応用的地質学など幅広い範囲におよぶ「総合地質学」の研究の推進、およびそれに基づく社会的貢献、特に一般市民の地質学に関する基礎知識の増進に貢献することを目的とする。

2. 法人番号 6-4300-05-012719

3. 役員（2023年3月31日現在）

理事長：宮下 純夫

副理事長：嵯峨山 積

専務理事：中川 充，岡村 聡，関根 達夫

理事：石崎 俊一，岡 孝雄，川村 信人，君波 和雄，高波 鐵夫，松田 義章，宮坂 省吾，柳下 文夫

監事：在田 一則，加藤 孝幸

4. 会員（2023年3月31日現在）

41名。内訳：正会員 19名，一般会員 20名，院生・学生会員 1名，賛助会員 1名

5. メールマガジン（HRCG Newsletter）購読者（2023年3月31日現在）

31名（会員以外）

6. 所在地・電話・電子メール・ホームページ

〒063-0002 北海道札幌市南区真駒内上町5丁目5番6号

連絡事務所 〒069-0813 北海道江別市野幌町58番地の7

電話 080-5830-2016 電子メール office@hrcg.jp ホームページ <https://www.hrcg.jp/>

7. 定款・設立趣旨書などの文書

定款：<https://hrcg.jp/documents/Teikan.pdf>

設立趣旨書：<https://hrcg.jp/documents/Shushi.pdf>

プライバシーポリシー：<https://hrcg.jp/documents/privacy.pdf>

会員の行動と知的所有権に関する基本的な考え方：<https://hrcg.jp/documents/Chiteki.pdf>

II. 活動および事業

2022（令和4）年

- 4月8日 幹事会 オンライン開催
- 4月10日 フジテレビ 目覚まし 8 担当者から問い合わせ
- 4月11日 入会（正会員）申請受付・入会承認
- 4月14日 入会（一般会員）申請受付・入会承認
- 4月15日 新加入会員の情報基盤利用設定作業
- 4月17日 監査
- 4月19日 幹事懇談会
- 4月21日 法人税（法人道民税均等割，法人市民税均等割）申告および減免申請書提出
- 4月25日 幹事会 オンライン開催
- 4月29日 幹事会 オンライン開催
- 4月30日 通常総会招集
- 5月9日 幹事会 オンライン開催
- 5月10日 通常総会議案書・委任状・表決権行使通知書等配布（オンラインおよび郵送）
- 5月15日 2022年度通常総会・特別講演会開催 13：00～16：30
- 5月16日 札幌市役所に書類提出（前理事長作成書類一式および新役員名簿，役員変更届）
- 5月17日 一般会員1名入会
- 5月20日 一般会員2名入会：入会申込書の簡素化
- 5月20日 10のMLを4つへ整理・統合
- 5月23日 第1回オンライン幹事会 13：00～15：10
- 5月25日 理事長交代手続きのため法務局訪問
- 5月25日 ホームページを全面変更（構成メンバー変更，ペイン追加，ページ整理など）
- 5月26日 一般会員1名入会
- 5月30日 HRCG 通信第7号発行
- 5月30日 主たる事務所の変更に関する理事会メール審議
- 5月31日 正会員1名退会
- 5月31日 理事会へ法務局との対応報告（過去6年間の理事の登記，理事承認承諾書，総会議事録などを提出）
- 6月3日 HRCG 通信第7号発送
- 6月4日 ニュースレターの配布先変更（除会員）
- 6月5日 ニュースレター（no.58）発行：HTMLでの送信
- 6月5日 メールマガジンへの登録・解除の方法の変更
- 6月5日 会員宛理事長就任挨拶
- 6月6日 理事会へ法務局との折衝報告（理事長選出の理事会互選書の作成など）

- 6月10日 札幌法務局へ関係書類提出
- 6月13日 第2回オンライン幹事会 13:00~15:10 (12部門から6部門への整理・統合など)
- 6月14日 理事会へ部門の整理・統合に関する報告
- 6月16日 市民より岩石鑑定依頼
- 6月20日 ホームページのリニューアル (ページ構成・英語版の整理, 変更など)
- 6月21日 札幌法務局より連絡: 書類の一旦取り下げ (定款上の任期に関する法的取り扱い, 辞任届の書類作成など)
- 6月28日 札幌法務局へ書類再提出
- 7月1日 ホームページ更新 (表示幅対応, 「総合地質」のページ整理, 変更など)
- 7月7日 法務局へ追加書類提出. (この間の詳細な経緯と問題点などの整理)
- 7月12日 ホームページ更新 (トップページにスライドショー配置など)
- 7月15日 札幌法務局より登記事項証明書発行
- 7月17日 第4回論文輪読会
- 7月19日 ゆうちょ銀行口座の住所変更完了
- 7月20日 郵便局に事務所移転に伴う転送手続き届け出
- 7月20日 2021年度年報を発行
- 7月25日 第3回オンライン幹事会 13:00~15:00
- 7月30日 第17回研究セミナー 13:30~15:30
- 8月4日 札幌西税務署, 北海道札幌道税事務所, 札幌市中央市税事務所に変更届郵送
- 8月4日 道民活動センターに登録申請書 (変更) をファックス
- 8月4日 第9回公開講座を道民カレッジ連携講座に申請, 承認される (8日)
- 8月9日 札幌市と札幌市教育委員会に第9回公開講座後援申請書を郵送
- 8月10日 北海道地質調査業協会に第9回公開講座後援申請書をメール送信
- 8月22日 札幌市および札幌市教育委員会より後援承諾通知書到着
- 8月27日 ゆうちょ銀行口座の使用目的確認手続き完了
- 8月29日 au 法人携帯の新規登録完了
- 8月30日 近畿ツーリストより SSH 高校研修の依頼メール
- 9月7日 北海道地質調査業協会より後援承諾書到着
- 9月9日 HRCG 通信第8号発行
- 9月9日 第4回オンライン幹事会 13:30~15:30
- 9月12日 さぼーとほっと基金助成事業に関するアンケート回答を提出
- 9月14日 「まんまる新聞」に第9回公開講座記事を依頼
- 9月15日 第10回公開講座を道民カレッジ連携講座として承認
- 9月16日 ニュースレター (no.59) 発行
- 9月16日 北海道地質調査業協会に第10回公開講座後援申請書をメール送信
- 9月20日 札幌市と札幌市教育委員会に第10回公開講座後援申請書を郵送

- 9月25日 会員有志による壮瞥周辺現地見学会
- 10月3日 プリントパックにHRCG紹介パンフレット(300枚)の印刷発注
- 10月15日 第9回公開講座実施
- 10月18日 第5回オンライン幹事会 13:30~15:00
- 10月19日 札幌市, 札幌市教育委員会, 北海道地質調査業協会へ第9回公開講座結果を報告
- 10月23日 Xserverアカウント契約更新
- 10月26日 ニュースレター(no.60)発行
- 11月1日 一般会員1名入会
- 11月5日 「総合地質」6巻(20冊)印刷受領
- 11月7~10日 国立国会図書館および地質調査総合センター, 北海道立図書館, 北海道博物館に「総合地質」6巻を寄贈
- 11月9日 相談電話(岩石活用)
- 11月16日 映像制作プロダクション(有)サンタナより空沼岳について問合せ
- 11月16日 道総研エネルギー・環境・地質研究所に「総合地質」6巻を寄贈
- 11月17日 (有)サンタナに空沼岳について返答
- 11月20日 第6回オンライン幹事会 10:00~12:00
- 11月27日 ニュースレター(no.61)発行
- 12月1日 新幹事就任(石崎理事)
- 12月3日 MLの登録再設定
- 12月3日 第10回公開講座実施
- 12月6日 一般会員1名入会
- 12月6日 近畿日本ツーリストに第10回公開講座資料を送信
- 12月8日 札幌市, 札幌市教育委員会, 北海道地質調査業協会に第10回公開講座結果を報告
- 12月13日 HRCG通信第9号発行
- 12月15日 HRCG個人アカウント(メールボックス含む)数名を除き廃止
- 12月20日 在籍証明書の発行(正会員)
- 12月23日 第7回幹事会 メール審議(在籍証明書の発行に関する内規案の策定)
- 12月26日 ニュースレター(no.62)発行
- 12月30日 理事長挨拶メール「2023年を迎えるにあたって」

2023(令和5)年

- 1月14日 札幌市市民活動サポートセンター市民団体登録更新書を提出
- 1月22日 第8回オンライン幹事会 13:30~15:30
- 2月13日 第18回研究セミナー・第7回会員交流会開催の案内メール
- 2月22日 第9回オンライン幹事会 13:30~15:30
- 3月11日 エルプラザ4階ロッカーより荷物搬出, 2023年度エルプラザ2階ロッカー使用申込
- 3月13日 ニュースレター(no.63)発行

3月18日 第18回研究セミナー・第7回会員交流会

3月29日 HRCG 通信第10号発行

公開講座

第9回 2022年10月15日開催. 講師: 宮下純夫, 変動する地球: 日本海東縁地震帯—迫りくる地震への備え—. (かでの2・7, 受講者34名)

第10回 2022年12月3日開催. 講師: 岡 孝雄, 2018年胆振東部地震の地盤変動の全容. (かでの2・7, 受講者31名)

総合地質 (6巻, 1号, 2022年10月30日発行)

松田義章: 北海道の文化と石材, 特に小樽市とその周辺地域を中心とした文化地質学的検討

君波和雄: 三波川変成岩類の上昇: メカニズムとプロセス

嵯峨山 積・井島行夫・荒川昌伸: 北海道登別市のカルルス粘土層の珪藻群集と火山灰組成

菅原 誠・嵯峨山 積: 西北海道北部, 磯谷地域の新第三紀磯谷層の珪藻生層序

井上 隆・関根達夫・岡村 聡・小田桐 亮・嵯峨山 積: 北海道倶知安町高砂の法面に現われた古倶知安湖堆積物

岡 孝雄・大西 潤: 北海道東部然別湖北岸ヤンベツ川下流の後期更新世～完新世の湖沼堆積物大雪御鉢平カルデラ起源降下火山灰について

高波鐵夫: 最近の北海道および周辺の地震活動 (2018～2021)

宮坂省吾: 支笏湖南岸「苔の洞門」の洪水史

君波和雄: 論文紹介

追悼: 赤松守雄氏

特別講演会 「石狩低地帯の縄文時代: 珪藻・花粉・考古のはなし」 (2022年5月15日開催, 会場出席: 24名, オンライン出席: 2名)

星野フサ: 花粉化石からみた縄文時代の始まりからの環境変遷の解析について

嵯峨山 積: 縄文海進と石狩低地帯の形成: 珪藻化石からのアプローチ

工藤義衛: ヒトの環境適応の視点から見た石狩低地帯

第17回研究セミナー (2022年7月30日, かでの2・7) 会場出席: 12名, オンライン出席: 2名

宮坂省吾: 都心にあった幻の川

関根達夫: 真駒内用水と精進川を歩く (地下鉄真駒内駅～地下鉄幌平橋間)

宮下純夫・足立佳子・金子 龍: オフィオライトにおける特異なハルツバージャイトの出現とその成因

第18回研究セミナー・第7回会員交流会（2023年3月18日，エルプラザ）会場出席：19名，オンライン

出席：4名

宮下純夫：アラビア半島オマーンの自然と文化と人々

高波鐵夫：北海道北部の最近の地震活動 —2022年8月11日中川付近の地震M5.4を中心に—

関根 達夫：トルコ・シリア地震関連情報（動画あり）

関根 達夫：支笏湖楓の沢の多視点撮影から3Dモデル作成（動画あり）

関根 達夫：支笏カルデラ支笏火砕流堆積物分布図（産総研地質調査総合センター）の紹介(2022/12/26公開)

岡 孝雄：札幌市街下で計画のシールドトンネル（新幹線）とその先行事例（望月寒川放水路トンネル）

第4回論文輪読会（2022年7月17日）会場出席：3名，オンライン出席：5名

紹介者：君波和雄，紹介論文: De Grave, J. et al., 2016, Late Paleogene emplacement and late Neogene-Quaternary exhumation of the Kuril island-arc toot (Kunashir Island) constrained by multi-method thermochronometry. *Geoscience Frontiers*, 7, 2(2016), 211-220.

紹介者：岡村 聡，紹介論文: Yong Ye et al., 2021, Study on rock mass classification methods used in the geological disposal of high-level radioactive waste. *Earth and Environmental Science*, 861(2021) 042118, doi:10.1088/1755-1315/861/4/042118.

HRCG 通信

第7号（2022年6月3日発行）

特別講演会を開催しました（嵯峨山 積）

オマーンの自然と文化（宮下純夫）

新理事長就任にあたって（宮下純夫）

理事長退任にあたって（前田仁一郎）

第4回 HRCG 論文輪読会講師のお願い（高波鐵夫）

会員紹介・会員短信（関根達夫、高波鐵夫）

第8号（2022年9月9日発行）

会員紹介・会員短信（太田勝一，菅原 誠，村元健治，赤松周平，小林哲夫，佐藤公則，田近 淳）

第4回論文輪読会（高波鐵夫）

第17回研究セミナー（嵯峨山 積）

HRCG ホームページをリニューアル（中川 充）

第9号（2022年12月13日発行）

日本地質学会研究奨励賞受賞論文の紹介（中西 諒）

俱知安町高砂法面の地質スケッチ（井上 隆）

会員有志による壮瞥現地検学会の報告（関根達夫）

会員紹介・会員短信（松田義章，宮坂省吾）

第10号（2023年3月29日発行）

地図と鉱石の山の手博物館紹介（内山幸二）

日高山脈博物館紹介（東 豊土）

会員紹介・会員短信（杉山幹夫，森藤 務，福岡氷見子）

Ⅲ. 会員による研究活動

1) 学術論文など（査読有）

井上 隆・関根達夫・岡村 聡・小田桐 亮・嵯峨山 積，2022，北海道倶知安町高砂の法面に現れた古倶知安湖堆積物．総合地質，6，47-56.

加藤聡美・宮下純夫，2022，日高帯北部・下川オフィオライトにおける高発泡ドレライト岩床の発泡の要因と曹長石-カリ長石脈の起源．地質学雑誌，128，427-443．<https://doi.org/10.5575/geosoc.2022.0039>

君波和雄，2022，三波川変成岩類の上昇：メカニズムとプロセス．総合地質，6，13-33.

松田義章，2022，北海道の文化と石材，特に小樽市とその周辺地域を中心とした文化地質学的検討．総合地質，6，1-12.

宮坂省吾，2022，支笏湖南岸「苔の洞門」の洪水史．総合地質，6，85-91.

中野聰志・岡村 聡・赤井純治，2023，用語「カリ長石」と「アルカリ長石」について．岩石鉱物科学，52，gkk221005．doi: 10.2465/gkk.221005

岡 孝雄・大西 潤，2022，北海道東部然別湖北岸ヤンベツ川下流の後期更新世～完新世の湖沼堆積物大雪御鉢平カルデラ起源降下火山灰について．総合地質，6，57-80.

岡村 聡，2022，寿都町・神恵内村は深地層処分の適地か？—地質学的視点から考える—．地学教育と科学運動，89，41-47.

嵯峨山 積・井島行夫・荒川昌伸，2022，北海道登別市のカルルス粘土層の珪藻群集と火山灰組成．総合地質，6，35-38.

坂口 隆・岡村 聡，2023，北海道縄文時代後期における墓石の原産地研究．考古学雑誌，105，49-88.

菅原 誠・嵯峨山 積，2022，西南北海道北部，磯谷地域の新第三紀磯谷層の珪藻生層序．総合地質，6，39-46.

高波鐵夫，2022，最近の北海道および周辺の地震活動（2018～2021）．総合地質，6，81-84.

2) 学術論文など (査読無)

星野フサ・春木雅寛・南 雅代・北川浩之・中村俊夫, 2023, 北海道石狩地方の10万年前以降の古植生とその推移. 名古屋大学年代測定研究, 7, 15-31.

3) 学術書籍, 一般書籍・雑誌など

松田義章, 2023, 第4章 小樽の地質. 醍醐龍馬編『小樽学』, 小樽商科大学出版会 98-122.

4) 学術講演・学会発表 (口頭・ポスター) など

星野フサ, 2022, 花粉化石からみた縄文時代の始まりからの環境変遷の解析について. HRCG 特別講演会 (5月15日).

近藤玲介・百原 新・紀藤典夫・井上 京・吉田明弘・横地 穰・金 和広・嵯峨山 積・隅田まり・重野聖之・植村 杏太・宮入陽介・坂本竜彦・竹村貴人・横山祐典・富士田裕子, 2022, 北海道根室半島周辺の海成段丘上とその周辺における湿原堆積物の層序. 地球惑星関連合同大会 (JPGU2022), H-QR04.

宮坂省吾, 2022, 都心にあった幻の川. HRCG 第17回研究セミナー (7月30日).

宮下純夫, 2023, アラビア半島オマーンの自然と文化と人々. HRCG 第18回研究セミナー・第7回会員交流会 (3月18日).

宮下純夫・足立佳子・金子 龍, 2022, オフィオライトにおける特異なハルツバージャイトの出現とその成因. HRCG 第17回研究セミナー (7月30日).

岡 孝雄, 2023, 札幌市街下で計画のシールドトンネル (新幹線) とその先行事例 (望月寒川放水路トンネル). HRCG 第18回研究セミナー・第7回会員交流会 (3月18日).

岡村 聡, 2022, 2年目を迎えた文献調査一核ゴミの地層処分の問題点. 地団研長野総会シンポジウム (8月20日; オンライン開催).

嵯峨山 積, 2022, 縄文海進と石狩低地帯の形成: 珪藻化石からのアプローチ. HRCG 特別講演会 (5月15日).

嵯峨山 積・越田賢一郎・渡井 瞳, 2022. 北海道石狩平野の縄文時代の海面変化と遺跡群. 日本地質学会第129年学術大会講演要旨 (東京, 9月4日)

<https://confit.atlas.jp/guide/event/geosocjp129/subject/loral501-07-03/advanced>.

関根達夫, 2022, 真駒内用水と精進川を歩く (地下鉄真駒内駅~地下鉄幌平橋間). HRCG 第17回研究セミナー (7月30日).

関根達夫, 2023, トルコ・シリア地震関連情報 (動画あり). HRCG 第18回研究セミナー・第7回会員交流会 (3月18日).

関根達夫, 2023, 支笏湖楓の沢の多視点撮影から3Dモデル作成 (動画あり). HRCG 第18回研究セミナー・第7回会員交流会 (3月18日).

関根達夫, 2023, 支笏カルデラ支笏火砕流堆積物分布図 (産総研地質調査総合センター) の紹介(2022/12/26公開). HRCG 第18回研究セミナー・第7回会員交流会 (3月18日).

高波鐵夫, 2023, 北海道北部の最近の地震活動—2022年8月11日中川付近の地震 M5.4 を中心に—. HRCG 第18回研究セミナー・第7回会員交流会 (3月18日).

5) 一般講演

松田義章, 2022, 小樽の地質と天狗山の大地の過去・現在・未来. 小樽道新文化センター教養講座, 5月14日.

松田義章, 2022, 小樽の地形と地質の特徴. 小樽双葉高等学校・ドリームプロジェクト・サイエンス専攻「小樽の自然を科学する」講座・講演, 5月19日.

松田義章, 2022, 地学探訪, 忍路の考古遺跡と1,000万年前の海底火山を訪ねて. 小樽道新文化センター教養講座, 9月3日.

松田義章, 2022, 小樽が世界に誇る地質遺産～小樽西部海岸, 忍路, 桃内, 塩谷地域に広がる大昔の海底火山活動の痕跡について～. 第3回塩谷・桃内まちづくり講演会, 10月23日.

松田義章, 2022, 砂を調べるとどんなことがわかるのか? ①～石狩湾岸の砂の特性を探る～. 小樽双葉高等学校・ドリームプロジェクト・サイエンス専攻「小樽の自然を科学する」講座・講演, 12月8日.

松田義章, 2022, 砂を調べるとどんなことがわかるのか? ②～石狩湾岸の砂の鉱物組成の検討からわかること～. 小樽双葉高校・ドリームプロジェクト・サイエンス専攻「小樽の自然を科学する」講座・講演, 12月22日.

宮下純夫, 2022, アラビア半島オマーンの自然と地質そして人々. 東京大学中東地域研究センター公開シンポジウム「深掘り! オマーン・スルタン国」, 東京大学, 11月13日.

宮下純夫, 2022, 地球史的視点から見た気候変動, 第55回サイエンスフォーラム in さっぽろ, 9月24日.

宮下純夫, 2022, 変動する地球: 日本海東縁地震帯一迫りくる地震への備え. HRCG第9回公開講座, 10月15日.

岡孝雄, 2022, 2018年胆振東部地震の地番変動の全容. HRCG第10回公開講座, 12月3日.

岡村聡, 2022, 黒松内の活断層と寿都の海底火山. 科教協黒松内大会 フィールドワーク II 事前学習会, 黒松内, 2022年8月4日.

6) 巡検・見学会リーダーなど

松田義章, 2022, 小樽の地質と天狗山の大地の過去・現在・未来. 小樽道新文化センター教養講座・フィールドワーク編, 5月21日.

松田義章, 2022, 小樽の考古遺跡～忍路環状列石・忍路地鎮山環状列石の地学. 小樽双葉高等学校・ドリームプロジェクト・サイエンス専攻「小樽の自然を科学する」講座・フィールドワーク, 6月9日.

松田義章, 2022, 小樽の天狗山の生い立ちを探る. 小樽双葉高等学校・ドリームプロジェクト・サイエンス専攻「小樽の自然を科学する」講座・フィールドワーク, 6月23日.

松田義章, 2022, 小樽運河周辺の倉庫をつくっている石, 小樽軟石, 札幌軟石を探る. 小樽双葉高等学校・ドリームプロジェクト・サイエンス専攻「小樽の自然を科学する」講座・フィールドワーク, 6月30日.

松田義章, 2022, 小樽・忍路半島の大昔の海底火山を船で海上から探る. 小樽双葉高等学校・ドリームプロジェクト・サイエンス専攻「小樽の自然を科学する」講座・フィールドワーク, 7月14日.

松田義章, 2022, 小樽・忍路半島の大昔の海底火山の噴出物を探る. 小樽双葉高等学校・ドリームプロジェクト・サイエンス専攻「小樽の自然を科学する」講座・フィールドワーク, 8月25日.

松田義章, 2022, 地学探訪, 忍路の考古遺跡と1,000万年前の海底火山を訪ねて. 小樽道新文化センター教育講座・フィールドワーク編, 9月10日.

松田義章, 2022, 小樽・朝里川周辺の地形・地質・特徴を探る①. 小樽双葉高等学校・ドリームプロジェクト・サイエンス専攻「小樽の自然を科学する」講座・フィールドワーク, 9月15日.

松田義章, 2022, 小樽・朝里川周辺の地形・地質・特徴を探る②. 小樽双葉高等学校・ドリームプロジェクト・サイエンス専攻「小樽の自然を科学する」講座・フィールドワーク, 10月6日.

松田義章, 2022, 小樽周辺地域～余市地域の考古遺跡（西崎山環状列石, フゴッペ洞窟遺跡）を訪ねて～. 小樽双葉高等学校・ドリームプロジェクト・サイエンス専攻「小樽の自然を科学する」講座・フィールドワーク, 11月10日.

岡村 聡, 2022, 黒松内町の活断層と寿都町の地質. 科教協・地団研北海道支部共催, 2022年8月5日.

IV. 会計決算

2023年3月末（2022年度）

特定非営利活動法人 北海道総合地質学研究中心
2022年度決算

2022年4月1日～2023年3月31日（単位：円）

| 収入 | | | | |
|------------------|-----------|-----------|----------|---|
| I. 経常収益 | | | | |
| 科目 | 予算 | 決算 | 差額 | 備考 |
| 1. 受取会費 | | | | |
| 正会員受取会費 | 108,000 | 108,000 | 0 | 20名, 6,000円×18名（前年度納入済2名） |
| 一般会員受取会費 | 24,000 | 37,000 | △ 13,000 | 20名, 2,000円×18名+1,000円（半年分1名）：肉2,000円（21年度分1名）、未納者3名。 |
| 賛助会員受取会費 | 10,000 | 10,000 | 0 | 1名 |
| 院生・学生会員受取会費 | 0 | 0 | 0 | 1名, 前年度納入済 |
| 受取会費合計 | 142,000 | 155,000 | △ 13,000 | |
| 2. 受取寄付金 | | | | |
| 受取寄付金 | 25,000 | 15,720 | 9,280 | 内訳別紙 |
| 無償役務受入評価益 | 1,700,000 | 754,580 | 945,420 | 内訳別紙（管理費区分相当 442,647円, 事業費区分相当 311,933円） |
| 無償施設・機器等受入評価益 | 0 | 0 | 0 | |
| 受取寄付金合計 | 1,725,000 | 770,300 | 954,700 | |
| 3. 受取助成金等 | | | | |
| 受取助成金 | 0 | 0 | 0 | |
| 受取補助金 | 0 | 0 | 0 | |
| 受取助成金等合計 | 0 | 0 | 0 | |
| 4. 事業収益 | | | | |
| 総合地質出版事業 | 15,000 | 46,500 | △ 31,500 | 総合地質23冊頒布（2,000円×14冊no.6, 2,500円×5冊no.5, 1,500円×4冊no.1-4） |
| 研究セミナー開催事業 | 0 | 0 | 0 | |
| 公開講座実施事業 | 60,000 | 54,500 | 5,500 | |
| 公開講座資料販売 | 2,000 | 0 | 2,000 | |
| アウトリーチ事業 | 0 | 0 | 0 | |
| 事業収益合計 | 77,000 | 101,000 | △ 24,000 | |
| 5. その他収益 | | | | |
| 受取利息 | 4 | 4 | 0 | 預金利息 |
| 雑収益 | 1,096 | 0 | 1,096 | |
| その他収益合計 | 1,100 | 4 | 1,096 | |
| 経常収益合計 | 1,945,100 | 1,026,304 | 918,796 | |

| 支出 | | | | |
|------------------|---------|---------|----------|---|
| II. 経常費用 | | | | |
| 科目 | 予算 | 決算 | 差額 | 備考 |
| 1. 事業費 | | | | |
| (1) 人件費 | | | | |
| 給与 | 0 | 0 | 0 | 計上せず＝職員を雇用せず |
| 謝金 | 5,000 | 5,000 | 0 | 特別講演会講師代 |
| 役務報酬費 | 0 | 0 | 0 | |
| 無償役務評価費用 | 300,000 | 311,933 | △ 11,933 | |
| 人件費合計 | 305,000 | 316,933 | △ 11,933 | |
| (2) その他経費 | | | | |
| 講義準備・資料作製準備必要経費 | 29,000 | 24,000 | 5,000 | 第9回・第10回公開講座担当者（12,000円×2回） |
| 会場費 | 18,000 | 30,600 | △ 12,600 | 第17回セミナー（3,700円, 7月）、第9・10・11・12回公開講座（4,700円×4回）、第13回公開講座（5,500円）、第18回セミナー・第7回会員交流会（2,600円, 3月） |
| 旅費・交通費 | 1,000 | 3,390 | △ 2,390 | |
| 広報・宣伝費 | 1,000 | 0 | 1,000 | |
| 通信費 | 15,000 | 10,680 | 4,320 | 総合地質：740円（370円×2）、公開講座チラシ：4,300円, 第7号ほかHRCG通信：3,860円, 理事長挨拶・研究セミナー案内ほか：1,260円, 札幌市・教育委員会：520円 |
| 印刷・製本費 | 48,000 | 57,920 | △ 9,920 | 総合地質 vol. 6（50,380円, 102 p., 20冊）、第9回公開講座チラシ（3,900円）、第10回公開講座チラシ（3,640円） |
| 事務用品費 | 1,000 | 0 | 1,000 | |

| | | | | |
|----------------|-----------|---------|----------|---|
| 消耗品費 | 5,000 | 0 | 5,000 | |
| 支払等手数料 | 800 | 660 | 140 | 口座振込(プリントバック:220円、三誠社:440円) |
| 事業雑経費 | 11,000 | 25,843 | △ 14,843 | 特別講演会:wi-fi、2,376円、第17回研究セミナー:wi-fi・電気・スクリーン、2,627円、公開講座(9回:電気・スクリーン、440円、10回:電気・スクリーン・マイク・音響装置等、2,430円、11・12回:、2,790円×2回、13回:1,690円)、18回セミナー:wi-fi、700円、総合地質編集:10,000円 |
| ・ | 0 | 0 | 0 | |
| 無償施設・機器等受入評価費用 | 0 | 0 | 0 | |
| その他経費合計 | 129,800 | 153,093 | △ 23,293 | |
| 事業費合計 | 434,800 | 470,026 | △ 35,226 | |
| 2. 管理費 | | | | |
| (1) 人件費 | | | | |
| 役員報酬 | 0 | 0 | 0 | 計上せず |
| 給与 | 0 | 0 | 0 | 計上せず=職員を雇用せず |
| 謝金 | 5,000 | 0 | 5,000 | 事務作業補助、会計作業補助、ホームページ更新作業補助など |
| 役員報酬費 | 0 | 0 | 0 | |
| 無償役務評価費用 | 1,400,000 | 442,647 | 957,353 | 内訳別紙 |
| 人件費合計 | 1,405,000 | 442,647 | 962,353 | |
| (2) その他経費 | | | | |
| 事務所費 | 0 | 0 | 0 | |
| 会議・会場費 | 3,000 | 2,600 | 400 | 2023年総会用(エルプラザ) |
| 旅費・交通費 | 8,000 | 8,870 | △ 870 | 法務局手続作業 |
| 広報・宣伝費 | 3,000 | 0 | 3,000 | |
| 通信費 | 40,000 | 39,418 | 582 | インターネット環境:17,402円(サーバーレンタル:13,200円、ドメイン更新:4,202円)、携帯電話:19,500円、郵送費:2,516円 |
| 印刷・製本費 | 1,000 | 5,160 | △ 4,160 | パンフレット印刷代(300冊) |
| 事務用品費 | 3,000 | 9,360 | △ 6,360 | ポータブルHDD |
| 消耗品費 | 3,000 | 600 | 2,400 | 登記事項証明書印紙代 |

| | | | | |
|----------------|-----------|---------|---------|---|
| 支払等手数料 | 500 | 0 | 500 | |
| 管理雑経費 | 15,000 | 12,500 | 2,500 | ロッカー代、22年度:7,700円(700円×11ヶ月)、23年度:4,800円(400円×12ヶ月) |
| 管理予備費 | 1,200 | 5,000 | △ 3,800 | 情報基盤管理手当(担当者) |
| 管理事務作業環境提供 | 3,600 | 3,600 | 0 | 理事長(200円×12ヶ月)、副理事長(100円×12ヶ月) |
| 事務作業経費 | 24,000 | 0 | 24,000 | |
| 無償施設・機器等受入評価費用 | 0 | 0 | 0 | |
| その他経費合計 | 105,300 | 87,108 | 18,192 | |
| 管理費合計 | 1,510,300 | 529,755 | 980,545 | |
| 経常費用合計 | 1,945,100 | 999,781 | 945,319 | 事業費合計+管理費合計 |

| | | | | |
|---------|----|--------|----------|---------------|
| 科目 | 予算 | 決算 | 差額 | 備考 |
| 当期経常増減額 | 0 | 26,523 | △ 26,523 | 経常収益合計-経常費用合計 |

| | | | | |
|------------|----|----|----|----|
| III. 経常外収益 | | | | |
| 科目 | 予算 | 決算 | 差額 | 備考 |
| 経常外収益 | 0 | 0 | 0 | |
| 経常外収益合計 | 0 | 0 | 0 | |

| | | | | |
|-----------|----|----|----|----|
| IV. 経常外費用 | | | | |
| 科目 | 予算 | 決算 | 差額 | 備考 |
| 経常外費用 | 0 | 0 | 0 | |
| 経常外費用合計 | 0 | 0 | 0 | |

| | | | | |
|----------|----|----|----|----|
| 科目 | 予算 | 決算 | 差額 | 備考 |
| 当期経常外増減額 | 0 | 0 | 0 | |

| | | | | |
|--------------|----|--------|----------|----|
| 科目 | 予算 | 決算 | 差額 | 備考 |
| 税引前当期正味財産増減額 | 0 | 26,523 | △ 26,523 | |

| | | | | |
|-----------|---------|---------|----------|---|
| 法人税 | 0 | 0 | 0 | 免除予定 |
| 法人道民税均等割 | 0 | 0 | 0 | 20,000円、免除予定 |
| 法人市民税均等割 | 0 | 0 | 0 | 50,000円、免除予定 |
| 前期繰越正味財産額 | 477,017 | 477,017 | 0 | |
| 次期繰越正味財産額 | 477,017 | 503,540 | △ 26,523 | 前期繰越正味財産額 477,017円+当期財産正味増減額 26,523円 = 503,540円 |

V. 無償役務，寄付金および賛助金受入れなど

| 寄付金 | |
|-------|--------|
| 氏名 | 金額 (円) |
| 星野 フサ | 4,000 |
| 高波 鐵夫 | 1,720 |
| 岡 孝雄 | 10,000 |
| 計 | 15,720 |

| 賛助会費収入 | |
|--------|--------|
| 氏名 | 会費 (円) |
| 吉岡正俊 | 10,000 |
| 計 | 10,000 |

| 管理区分無償役務 | | |
|----------|---------|----------|
| 氏名 | 金額 (円) | 備考(算定時間) |
| 在田 一則 | 9,200 | 10.0 |
| 加藤 孝幸 | 9,200 | 10.0 |
| 宮下 純夫 | 294,774 | 326.0 |
| 岡村 聡 | 23,424 | 26.0 |
| 嵯峨山 積 | 32,469 | 36.0 |
| 関根 達夫 | 23,424 | 26.0 |
| 中川 充 | 45,132 | 50.0 |
| 石崎 俊一 | 1,840 | 2.0 |
| 川村 信人 | 14,472 | 16.0 |
| 前田 仁一郎 | 7,112 | 8.0 |
| 計 | 461,047 | 510.0 |

| 受取寄付金・無償役務内訳 | 金額 (円) |
|--------------|---------|
| 受取寄付金 | 15,720 |
| 無償役務受入評価益 | 754,580 |
| 計 | 770,300 |

| 事業区分無償役務 | | | |
|----------|---------|----------|-----------|
| 氏名 | 金額 (円) | 備考(算定時間) | 事業内容 |
| 宮下 純夫 | 189,627 | 209.4 | 総合地質編集等 |
| 岡村 聡 | 29,689 | 34.7 | HRCG通信編集等 |
| 嵯峨山 積 | 28,920 | 31.5 | 公開講座等 |
| 関根 達夫 | 15,786 | 17.3 | 研究セミナー等 |
| 中川 充 | 26,249 | 28.8 | 研究セミナー等 |
| 高波 鐵夫 | 15,299 | 17.0 | HRCG通信編集等 |
| 佐藤 公則 | 3,554 | 3.9 | 公開講座 |
| 村元 健治 | 2,809 | 3.0 | 公開講座 |
| 計 | 311,933 | 345.6 | |

注) 北海道最低賃金 (4～9月: 889円, 10～3月: 920円)

以上の皆さまの貢献に感謝申し上げます。

VI. 後援，助成金受入れなど

1) 後援など

第9回公開講座と第10回公開講座について，札幌市，札幌市教育委員会及び一般社団法人北海道地質調査業協会よりご後援いただいた。

2) 助成金などの受入れ

なし

| |
|----------------------------|
| 北海道総合地質学研究センター年報編集担当 嵯峨山 積 |
|----------------------------|